

Weekly Accounting Review

2010年6月30日 (No.062)

株式会社エスネットワークス

会計・監査・税務に関する最新情報をお送りします。

【今週号のトピック】

- 会計①／「包括利益に関する会計基準」の公表について
- 会計②／「一株当たり当期純利益に関する会計基準」、「一株当たり当期純利益に関する会計基準に関する適用指針」及び「一株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」の公表について

【先週の特別損益等 I R】

- 株式会社サンシティ：債務買戻益の計上
- 株式会社アパマンショップホールディングス：負ののれん償却の計上

【先週の会計監査人交代等 I R】

※全1件御座いました。

1. 「包括利益に関する会計基準」の公表について（6月30日）

企業会計基準委員会は「包括利益に関する会計基準」を公表しました。

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/docs/hokatu/?jsessionid=2E3C14614E12F5C4A37FFF6D6A45E0AF

「包括利益に関する会計基準」の概要は以下の通りとなります。

【定義】

「包括利益」とは、ある企業の特定期間の財務諸表において認識された純資産の変動額のうち、当該企業の純資産に対する持分所有者との直接的な取引によらない部分をいう。「その他の包括利益」とは、包括利益のうち当期純利益及び少数株主損益に含まれない部分をいう。

【包括利益計算の表示】

個別財務諸表：当期純利益にその他の包括利益の内訳項目を加減して包括利益を表示

連結財務諸表：少数株主損益調整前当期純利益にその他の包括利益の内訳項目を加減して包括利益を表示

【その他の包括利益の内訳の開示】

・内容に基づき、その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益・為替換算調整勘定等に区分して表示（**税効果を控除した金額で表示し、項目別の税効果金額を注記**）

・**当期純利益を構成する項目のうち、当期又は過去にその他の包括利益に含まれていた部分は組替調整額**

として、その他の包括利益の内訳項目ごとに注記

【包括利益を表示する計算書】

下記いずれかの計算書が認められている

- ・ 当期純利益を表示する損益計算書と包括利益を表示する包括利益計算書からなら **2 計算書方式**
- ・ 当期純利益の表示と、包括利益の表示を1つの計算書で行う **1 計算書方式**

【適用時期】

2011年3月31日以後終了する年度末に係る財務諸表から適用する（税効果金額の注記、組替調整額の注記は除く）。但し、2010年9月30日以後終了する年度末に係る財務諸表から早期適用が可能

税効果金額の注記、組替調整額の注記は2012年3月31日以後終了する年度末に係る財務諸表から適用する。但し、早期適用（2011年3月31日以後終了する年度末に係る財務諸表から適用）も可能

ショート・コメント

上記基準の個別財務諸表への適用をするか否かについては、現在のところ結論が出ておらず、本会計基準の公表から1年後を目途に判断がなされる予定となっております。

2. 「一株当たり当期純利益に関する会計基準」、「一株当たり当期純利益に関する適用指針」及び「一株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」の公表について（6月30日）

企業会計基準委員会は「一株当たり当期純利益に関する会計基準」、「一株当たり当期純利益に関する会計基準に関する適用指針」及び「一株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」を公表しました。

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/docs/touki/;jsessionid=A8731E79CD21F834474C464945B61006

当該基準等の主な内容は以下の通りです。

- ・ 会計方針の変更又は過去の誤謬の訂正が行われた場合は、表示期間の1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益、1株当たり純資産額を、遡及適用後又は修正表示後の金額により算定する
- ・ 当期及び当期の貸借対照表日後に株式併合又は株式分割が行われた場合は、普通株式の期中平均株式数及び普通株式増加数は、表示する財務諸表のうち、最も古い期間の期首に当該株式併合又は株式分割が行われたと仮定して算出
- ・ その他、ストックオプションに関する取扱い、潜在株式に関する取扱いが定められております。

3. 先週の特別損益等 I R（6月21日～6月25日）

（1）株式会社サンシティ（証券コード8910、東証一部）：債務買戻益の計上【6月23日】

株式会社サンシティは、株式会社サンシティに対して貸付債権を有する金融機関が、当該貸付債権を第三者へ債権譲渡したことに伴い、当該第三者と交渉の結果、当該貸付債権を買戻すことを決定したため、債務買戻益18億円を特別利益に計上することとしております。

なお、株価は発表日直前終値 3,445 円から発表日翌日終値 4,145 円と 700 円上昇しております。

(2) 株式会社アパマンショップホールディングス（証券コード 8889、ヘラクレス）：負ののれん償却の計上【6月23日】

株式会社アパマンショップホールディングスは、経済環境の悪化に対応し、賃貸収入の増加による収益の安定を図るため、自社グループが保有する販売用不動産等の棚卸資産 30,376 百万円について固定資産への所有目的の変更を行っております。当該所有目的の変更に伴い、負ののれん 5,242 百万円を一括償却し、特別利益に計上することとしました。

なお、株価は発表日直前終値 3,200 円から発表日翌日終値 3,900 円と 700 円上昇しております。

4. 先週の会計監査人交代等 I R（6月21日～6月25日）

先週の会計監査人交代等 I R は以下の通りです。

月日	会社名	市場(番号)	就任監査人	退任監査人	交代理由
6月23日	アイビーダイワ	JASDAQ(3587)	監査法人ワールドリンクス	監査法人和宏事務所	任期満了

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社エスネットワークス 公認会計士 橋本 卓也

Tel:03-5573-4661 / t-hashimoto@esnet.co.jp